

# 図書館の自由

第126号 (2025年2月)

日本図書館協会図書館の自由委員会

## <もくじ>

1. 全国図書館大会長崎大会報告 1
2. 新聞・雑誌記事スクラップ 2
3. おしらせ 7

## 1. 全国図書館大会長崎大会報告

第110回全国図書館大会長崎大会は、「図書館がつなぐ 人・まち・ミライ -21世紀の出島(長崎)から-」をテーマとして、オンライン形式(一部対面)で開催されました。対面開催は2024年11月30日(土)~12月1日(日)、動画配信は2024年11月30日(土)~12月28日(土)の予定でしたが、2025年1月10日(金)まで延長されました。

図書館の自由委員会では第7分科会「「図書館の自由に関する宣言」採択70周年」をテーマとして、山口真也委員長による基調報告「図書館の自由・この1年」と、憲法学者の木村草太氏による講演「憲法学者からみた「図書館の自由」~図書館の自由に関する宣言70周年記念~」の動画を配信しました。

基調報告「図書館の自由・この1年」では、2024年9月に公表した「著作権侵害を理由とする利用制限についての基本的な考え方」について詳しく説明し、またGIGAスクール構想下での個人情報の利活用をめぐる課題などの論点を整理しました。

木村草太氏の講演「憲法学者からみた「図書館の自由」」では、「図書館の自由を支える憲法理論」をテーマとして図書館の自由に関する宣言に記された原則と基本的人権との多様な関わりについて論じられました。講演会当日はさまざまな質問が寄せられ、アンケートにも多くの感想が寄せられましたので、以下にいくつか紹介します。

- ・司書の専門性について個人的にどう語ればよいか悩んでいたのが、これが表現の自由から導かれる文化専門職という立場に繋がっているというのは、むしろ図書館界へのエールのようにも思いました。木村先生の本はいくつか読んでおりますが、新刊も楽しみにしております。(公共)
- ・たいへんわかりやすく明確な講演でした。図書館に限らず文化機関全般に及ぶ内容で有益でした。ありがとうございます。(文化芸術団体)
- ・憲法学者の視点から「図書館の自由」がどのように受け止められているかを知る機会になり、とても参考になりました。企画ありがとうございます。また、木村先生、貴重な機会をたまわりありがとうございます。(学校)
- ・明快な言葉と論理的展開で、大変聞きやすく興味深いお話でした。内容は盛り沢山で、自分としてはゆったりかみくだいて頭の中を整理して、きちんと理解していきたいと感じました。”市民のために最善をつくし、どれくらい喜んでもらえるか、市民に役立つ仕事をしているか”——重い言葉だと受け止めました。(公共)

記録冊子は3月中旬、参加者に大会事務局から発送予定です。

## 2. 新聞・雑誌記事スクラップ

(雑誌、新聞の別に日付順に配列。テーマにより適宜まとめている。有料会員限定記事や公開期間経過によるリンク切れの記事もあるが、見出し情報としてそのまま掲載した。)

### 2024年11月まで

・「「図書館の自由」知って 妙高市妙高高原支所で14日までパネル展」『上越タイムス／糸魚川タイムス電子版』2024.05.12. <https://j-times.jp/archives/60276>

・津田さほ(こらむ図書館の自由)「「本に個人情報を含んで返した」から思うこと」『図書館雑誌』vol.118, no.11, 2024.11, p.639. <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202411>

・長岡義幸「「図書館の自由宣言」から70年 検閲、権力介入との闘いは今も」『週刊金曜日オンライン』2024.11.12. 18:59. <https://www.kinyobi.co.jp/kinyobinews/2024/11/12/antenna-1539/>

[日本図書館協会(日図協)の図書館の自由委員会は9月7日、東京・中央区の日図協研修室で「図書館の自由に関する宣言70周年記念講演会」を開いた。木村草太さん(東京都立大学教授)が「憲法学者からみた『図書館の自由』」と題して講演し、基本的人権と図書館の自由との関係などを整理して自由宣言の重要性を語った。]

・日向咲嗣「「92%」黒塗り公文書の衝撃 市民図書館が出した1400枚の真っ黒い紙が語る闇の深さと」『AERA dot.』2024.11.19. <https://dot.asahi.com/articles/-/239957>

[横行する黒塗り公文書の衝撃的実態を著書『「黒塗り公文書」の闇を暴く』から一部を抜粋・再編集して解説する。]

・「「プライバシーへの配慮ない」「公的機関としてどうかと」図書館作成の詳しすぎる“大谷翔平年表”が物議」『女性自身』2024.11.25. 17:55. <https://jisin.jp/sport/2401060/>

・「サイバーセキュリティ侵害が発生したカナダ・カルガリー公共図書館、復旧へのプロセスの第2段階への移行を発表：2024年12月に図書館サービスが完全復旧の見込み」『カレントアウェアネス-R』2024.11.28. <https://current.ndl.go.jp/car/230592>

### 個人情報流出 図書館から

・「報道資料 令和6年11月15日発表「熱田図書館における個人情報が含まれる文書の紛失について」『名古屋市』2024.11.18. <https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000180699.html>

[紛失したとされたリクエストカードは館内から発見された]

### 個人情報の利用

・「医療や教育現場の個人データ活用へ法整備検討 政府が検討会設置へ」『朝日新聞デジタル』2024.11.09. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/ASSC83SDHSC8ULFA017M.html>

・「医療・教育で個人情報共有 法整備へ来夏に基本方針—政府検討」『JIJI.COM』2024.11.12. 19:58. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2024111200970>

### 海外での検閲／禁書への取り組み

・「PEN America、米国の公立学校における2023-2024年の禁書の動向に関する報告書を公開」『カレントアウェアネス-R』2024.11.07. <https://current.ndl.go.jp/car/229303>

・「国際図書館連盟(IFLA)、各国の図書館協会等による知的自由に関する取組状況をまとめた調査報告書を公開」『カレントアウェアネス-R』2024.11.19. <https://current.ndl.go.jp/car/229900>

・「アメリカで加速する「排除の波」。いま図書館で起きていること」『TABI LABO』2024.11.28. <https://tabi-labo.com/310593/wtg-freedom-of-expression>

[日本語版ナショナル・ジオグラフィックの記事「学校や図書館で禁書の申請が過去最多、何が起きている？米国」はこの排除の波について説明]

### 表現の自由

・「同性婚法制化の訴え「政治的」？自治体の展示会「後援」、割れる判断」『朝日新聞デジタル』

2024.11.06. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S16077331.html>

・(時代の正体 表現の自由考)「路上ライブはいま アイドルのメジャーデビューが中止に… 規制が生む萎縮」『神奈川新聞』2024.11.08. 10:20. <https://www.kanaloco.jp/news/social/article-1124155.html>

・(時代の正体 表現の自由考)「路上ライブはいま 公共空間の運用問う」『神奈川新聞』2024.11.09. 10:00. <https://www.kanaloco.jp/news/social/article-1124500.html>

・「北海道警ヤジ排除から「表現の自由」を考える 憲法学者をまねき集会」『朝日新聞デジタル』2024.11.18. 19:00. <https://www.asahi.com/articles/ASSCL2VBTSCLIPE008M.html>

[首相演説にヤジを飛ばした市民を道警が排除したのは、憲法が保障する「表現の自由」の侵害にあたるとする判決が確定したことを受け、原告ら有志でつくる「ヤジポイの会」が17日、札幌市北区で最終報告集会を開いた。]

・(憲法を考える)「国家秘密と報道の自由、拮抗 沖縄密約巡る公電漏洩事件、最高裁の論理は」『朝日新聞デジタル』2024.11.26. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S16092616.html>

[「憲法秩序」への抵触疑う取材には理解 <証言、にじむ使命感> <違法秘密と認めず>/「守秘と暴露、互いの牽制大切」/知る権利に応える責任の重さ 取材後記]

### 選挙運動と表現の自由

・「つばさの党代表ら、無罪主張 黒川被告「正当な政治行動」一衆院補選で他陣営妨害・東京地裁」『JII.COM』2024.11.20. 18:07. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2024112000802>

### フェイクニュース/ハイトスピーチ/SNS規制

・「ネットの偽・誤情報、国家は何ができるか 政府会議の座長の答えは」『朝日新聞デジタル』2024.11.20. 08:00. <https://www.asahi.com/articles/ASSCLOPZPSCULUPQJ00GM.html>

・「トランプとマスクが掲げる「言論の自由」にも一理ある、SNSが抱えるジレンマに民主主義社会はどう向き合うか」『JBpress』2024.11.23. <https://jypress.ismedia.jp/articles/-/84558>

・「気に食わない裁判官は… SNS上で「表現の自由」が一線を越えかけている 今後の判断が乱される恐れは」『東京新聞 TOKYO Web』2024.11.23. 06:00. <https://www.tokyo-np.co.jp/article/368833>

[埼玉県でクルド人に対するハイトスピーチ(憎悪表現)が相次いでいる問題で、さいたま地裁は21日に侮辱的なデモを禁じる仮処分を決定した。交流サイト(SNS)では、決定を巡る投稿が相次いでいる。]

・「豪政府、ネット誤情報規制を断念 野党「検閲」と法改正反対」『高知新聞 PLUS DIGITAL』2024.11.25. 16:19. <https://www.kochinews.co.jp/article/detail/808614>

・「SNSの偽情報規制、廃案に 「検閲」懸念広がる一豪」『JII.COM』2024.11.25. 15:00. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2024112500606>

・「パキスタン、ネット規制強化 「報道の自由」への影響懸念」『日本経済新聞』2024.11.28. 17:30 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0CB27CUA0X21C24A1000000/>

[パキスタン政府は近く、仮想私設網(VPN)の規制に乗り出す。]

・「豪議会、16歳未満のSNS利用を禁止する法案可決 1年後に施行へ」『BBC NEWS JAPAN』2024.11.29. <https://www.bbc.com/japanese/articles/c0rgk4xqre1o>

[年齢確認が課題/SNS側は批判]

### 2024年12月

・鈴木啓子(こらむ図書館の自由)「PTA未加入の生徒に対して学校図書館利用を制限?」『図書館雑誌』vol.118, no.12, 2024.12, p.691. <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202412>

・「カナダ・トロント公共図書館、2023年に発生した同館へのサイバー攻撃に関する調査が完了したと発表:利用者や寄付者等約4,100人のデータが侵害された可能性」『カレントアウェアネス-R』2024.12.12. <https://current.ndl.go.jp/car/235494>

・松島茂「「図書館の自由に関する宣言」採択70年/読みたい本読む権利 保障を」『しんぶん赤旗』

2024.12.03, p.8.

・島田拓「原因は“伝言ゲーム”？ クレカ表現規制で赤松健氏、山田太郎氏らが集会 規制の背景や国内外の現状を解説」『IT media NEWS』2024.12.05. 12:00.

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2412/04/news200.html>

・「被差別部落の情報、一部出版禁止確定 上告退ける サイト上も削除へ」『朝日新聞デジタル』2024.12.07. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S16101163.html>

・(教育の小径)「デモ受け規制強める米大学、表現の自由は」『朝日新聞デジタル』2024.12.18. 16:30. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S16109085.html>

### フェイクニュース/SNS 規制

・「石破首相、ネット偽情報の法規制に言及 選挙で SNS 中傷」『日本経済新聞』2024.12.04. 02:00. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UA0363N0T01C24A2000000/>

・「石破首相、ネット偽情報の法規制に言及 政活費「衆院選で支出せず」一代表質問」『JIJI.COM』2024.12.03. 20:08. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2024120300694>

・「選挙の SNS 規制、自民が議論着手 偽情報など勝敗に影響」『日本経済新聞』2024.12.17. 21:03. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UA116ZK0R11C24A2000000/>

・「違法選挙動画で金もうけダメ 収益支払い停止、自民が SNS 対策で法改正検討」『産経新聞』2024.12.28. 19:37. <https://www.sankei.com/article/20241228-LTCLBGL5LBJWRLEYDAWBVJGWOI/>

・川田翔平「「表現の自由」か「有害コンテンツ規制」か…第2期トランプ政権が SNS 企業との全面対決へ」『江南タイムズ』2024.12.31. <https://www.kangnamtimes.com/ja/report/article/481805/>

・「米国ドナルド・トランプ2期行政府がソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)で 有害コンテンツ を自主検閲」『毎日経済 韓国代表経済メディア』2024.12.31. <https://www.mk.co.kr/jp/world/11207229>

### NHK 経営委議事録開示

・「NHK 会長への厳重注意巡る訴訟で和解 議事録、サイト掲載へ」『朝日新聞デジタル』2024.12.17. 16:02. <https://digital.asahi.com/articles/ASSDK1S1QSDKUCVL07HM.html>

・「NHK 経営委員会の議事録などの開示めぐる裁判 和解が成立」『NHK NEWS WEB』2024.12.17. 20:41. <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20241217/k10014670891000.html>

・「公表に至る経緯について」『NHK』2024.12.17. [https://www.nhk.or.jp/keiei-iinkai/giji/shiryou/kouhyokei\\_241217.pdf](https://www.nhk.or.jp/keiei-iinkai/giji/shiryou/kouhyokei_241217.pdf)

・「“番組介入” 議事録公表/NHK 経営委 「画期的和解」原告に笑顔」『しんぶん赤旗』2024.12.19. [https://www.jcp.or.jp/akahata/aik24/2024-12-19/2024121903\\_01\\_0.html](https://www.jcp.or.jp/akahata/aik24/2024-12-19/2024121903_01_0.html)

・(社説)「NHK 議事録公表 自ら検証する責任果たせ」『信濃毎日新聞デジタル』2024.12.19. 09:30. <https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2024121900042>

・(社説)「NHK 経営委 市民の監視 無力でない」『朝日新聞デジタル』2024.12.25. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S16113606.html>

### 京都戦時新聞

・「特集京都戦時新聞」『京都新聞』2024.12.08 - <https://www.kyoto-np.co.jp/subcategory/senjishimbun>

[2025年、終戦から80年の節目を迎えるにあたり、京都新聞社は2024年12月8日~25年9月、太平洋戦争中に京都新聞とその前身(京都日出新聞、京都日々新聞)が掲載した記事を分かりやすい言葉に直して1ページに再編集し、ネットと紙上に定期掲載する企画「京都戦時新聞」をスタートします。]

・「「京都戦時新聞」の読み方 どういう点に注目するか 監修する西山伸・京都大学文書館教授に聞く」『京都新聞』2024.12.08. 8:00. <https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1383952>

・「「京都戦時新聞」1号を発行 1941年12月のニュースを再編集、真珠湾攻撃や京都初の戦死者など」

『京都新聞』2024.12.08. 8:00. <https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1385426>

- ・「太平洋戦争に関する年表」『京都新聞』2024.12.08. 8:00.  
[https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1385484#goog\\_rewarded](https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1385484#goog_rewarded)
- ・「「記事差し止め 特高」 太平洋戦争の直前、検閲の実態を示す日誌が京都新聞社に眠っていた」『京都新聞』2024.12.08. 9:00. <https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/1385395>

## 2025年1月

- ・井上靖代 (こらむ図書館の自由) 「選挙と図書館と読む自由」『図書館雑誌』vol.119, no.1, 2025.01, p.7. <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/640/default.aspx#202501>
- ・「カメラ付き居室で受刑者のプライバシー権侵害 国に賠償命令 大阪地裁」『毎日新聞』2025.01.16. 12:21. <https://mainichi.jp/articles/20250116/k00/00m/040/435000c>
- ・「「慰安婦本」著者が勝訴 賠償請求退ける—韓国高裁」『JIIJ.COM』2025.01.22. 18:44.  
<https://www.jiji.com/jc/article?k=2025012201005>
- ・「「帝国の慰安婦」著者への賠償請求、ソウル高裁が退ける…1審は元慰安婦らの訴え認める」『読売新聞オンライン』2025.01.22. 18:37. <https://www.yomiuri.co.jp/world/20250122-OYT1T50160/>
- ・「“重要情報へのアクセス限定制度”の最終案 個人情報を調査」『NHK NEWS WEB』2025.01.22. 17:09.  
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250122/k10014700251000.html>
- ・「経済安保の機密資格、重要情報19項目を指定 民間も対象 外交・安全保障」『日本経済新聞』2025.01.31. 05:00. <https://www.nikkei.com/article/DGXZQQUA27BUV0X20C25A1000000/>

## 表現の自由

- ・「公選法改正 ポスターの品位確保、SNS規制も 表現の自由などとの両立課題」『北海道新聞』2025.01.05. 17:27. <https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1107558/>
- ・「表現の自由とテロ、分断続く仏 週刊紙「シャルリー・エブド」襲撃から10年」『朝日新聞デジタル』2025.01.09. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S16122247.html>  
(参考: 襲撃当時の記事) ・吉田徹「「表現の自由」はなぜ認められるのか 近代市民が獲得した権力批判の自由」『imidas』2015.02.20. <https://imidas.jp/jijikaitai/d-40-101-15-02-g452>)
- ・「「白紙運動」のドキュメンタリー制作、映画監督に禁錮3年6カ月の実刑 中国」『CNN』2025.01.07. 11:48. <https://www.cnn.co.jp/world/35227954.html>
- ・「中国、白紙運動記録で実刑 制作監督、懲役3年6月」『東京新聞』2025.01.08. 19:09.  
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/378134>
- ・「拡声機使った広島原爆忌デモ、市民7割「式典に悪影響」…「厳粛」「表現の自由」の両立に課題」『読売新聞オンライン』2025.01.14. 15:00. <https://www.yomiuri.co.jp/national/20250113-OYT1T50072/>
- ・「環境保護訴え名画に損害、被告に無罪 パリ裁判所「表現の自由」」『朝日新聞デジタル』2025.01.23. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S16132593.html>

## ハイトスピーチ禁止条例

- ・「埼玉県“クルド人差別”が社会問題化も「ハイトスピーチ禁止条例」制定には慎重な姿勢… 背景にある「表現の自由」のジレンマとは」『弁護士JPニュース』2025.01.09. <https://www.ben54.jp/news/1849>
- ・「「差別禁止の明確な規定ない」 京都府の人権条例骨子案に異論相次ぐ」『毎日新聞』2025.01.23. 10:56. <https://mainichi.jp/articles/20250123/k00/00m/040/063000c>
- ・「京都府の人権条例骨子案、実効性に懸念も 「ハイトに対抗の姿勢を」」『朝日新聞デジタル』2025.01.23. 08:00. <https://digital.asahi.com/articles/AST1Q32RNT1QPLZB00DM.html>

## フェイクニュース／ハイトスピーチ／SNS規制

- ・「個人情報ネットに公開、救助進んだ 虚偽あふれる SNS時代の災害で」『朝日新聞デジタル』2025.01.11. 09:00. <https://www.asahi.com/articles/AST14327LT14PTIL008M.html>

- ・ (ネットと災害:6) 「「偽情報で金もうけ」絶つ 「表現の自由」と両立、求めて」『朝日新聞デジタル』2025.01.12. 05:00. <https://www.asahi.com/articles/DA3S16124526.html>  
[ゆらぐ事業者／対策進むEU／慶応大教授の村井純(69)は偽情報拡散の背景に「広告モデルの過度な高度化」があると指摘／ジャーナリストの津田大介(51)は「発信される情報の正確性に責任を持たないという姿勢がSNS事業者には根強い」とし、「法規制」も視野に入れた検討が必要とみる。／関西大准教授(憲法学)の水谷瑛嗣郎(38)は「偽情報が生み出す悪貨の循環を断ち切るべきだ」と話す。]
- ・ 「ハイトスピーチ規制は「検閲ではない」 国連人権トップ」『AFPBB NEWS』2025.01.11. 09:59. <https://www.afpbb.com/articles/-/3557663>
- ・ 「パリ市、Xを退会へ 「ハイトスピーチ助長」 市長「巨大な世界規模の下水道」」『産経新聞』2025.01.17. 07:15. <https://www.sankei.com/article/20250117-0BRB3NMHFBKLRHXI4JYCEL2G4/>
- ・ 「ドイツ国立図書館(DNB)、公式Xのアカウントを停止すると発表」『カレントアウェアネス-R』2025.01.21. <https://current.ndl.go.jp/car/238537>
- ・ 「欧州委員会がハイトスピーチ対策を強化、Xのレコメンドを監視へ」『Forbes JAPAN』2025.01.24. 08:00. <https://forbesjapan.com/articles/detail/76657>
- ・ 「SNS「検閲」停止を宣言 投稿管理への政府介入禁止—米大統領令」『JIIJ.COM』2025.01.21. 14:19. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2025012100808>

### **TikTok 禁止法 (米国)**

- ・ 「TikTok 禁止支持に傾く 「表現の自由」巡り弁論—米最高裁」『JIIJ.COM』2025.01.11. 09:21. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2025011100328>
- ・ 「TikTok 禁止法、米最高裁は支持か 「表現の自由」主張を疑問視」『毎日新聞』2025.01.11. 09:56. <https://mainichi.jp/articles/20250111/k00/00m/030/044000c>
- ・ 「TikTok 禁止法、米連邦最高裁が合憲と判断…言論の自由侵害の主張退ける」『読売新聞オンライン』2025.01.18. 00:42. <https://www.yomiuri.co.jp/economy/20250118-0YT1T50007/>
- ・ 「米最高裁がTikTok 禁止法を支持、施行巡るトランプ氏の判断に注目」『Bloomberg』2025.01.18. 00:22. <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2025-01-17/SQ8NADDWRGG000>
- ・ 「前面に出る安保の論理、かすむ表現の自由 米TikTok 規制施行へ」『朝日新聞デジタル』2025.01.18. 19:00. <https://www.asahi.com/articles/AST1L2V96T1LUHBI01BM.html>
- ・ 「TikTok 禁止法施行を75日延期、トランプ氏が大統領令署名」『Reuters』2025.01.21. 16:41. <https://jp.reuters.com/world/security/YCBIYIGFY45K4HODVPRBH7WMBLE-2025-01-21/>
- ・ 「トランプ米大統領、TikTok 規制法の執行を延期する大統領令を発令」『JETRO』2025.01.22. <https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/01/7f9a0b8f481da593.html>

### **ファクトチェックの廃止**

- ・ 「メタ、ファクトチェックを廃止「表現の自由を守る」 保守派の批判受け」『朝日新聞デジタル』2025.01.08. 19:03. <https://www.asahi.com/articles/AST177KD3T17UHBI006M.html>
- ・ 「フェイスブックとインスタグラムのファクトチェックを廃止、米メタが発表」『BBC NEWS』2025.01.08. <https://www.bbc.com/japanese/articles/cqkxky4vvg3o>
- ・ 「メタ、第三者の事実チェック廃止 表現の自由、トランプ氏に配慮か」『共同通信』2025.01.08. <https://nordot.app/1249454356770308233>
- ・ 「「検閲だなんてばかげている」メタと契約のファクトチェッカーは失望」『朝日新聞デジタル』2025.01.08. 18:14. <https://digital.asahi.com/articles/AST182RNRT18UHBI01MM.html>
- ・ 臼田勤哉「Meta、米国でファクトチェック廃止 「多くの検閲と誤り」で方針転換」『Impress Watch』2025.01.08. 09:56. <https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/1652797.html>
- ・ 「米メタ 第三者ファクトチェック廃止 トランプ氏就任踏まえたか」『NHK ニュース』2025.01.08. 14:48. <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250108/k10014687371000.html> <https://archive.is/HGrwH>

- ・「EU、データ法が SNS 検閲とのメタ CEO の主張を強く否定」『ロイター』2025.01.09. 午前 9:38  
<https://jp.reuters.com/business/JEVKHHPG6NOLRIWDFM4UVFJXBE-2025-01-09/>
- ・「EU 当局「検閲していない」規制巡りメタの主張に反論」『日本経済新聞』2025.01.09. 18:53.  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGN099LP0Z00C25A1000000/>
- ・(時時刻刻)「偽情報対策、揺り戻し 保守派から「検閲」批判、メタが路線転換」『朝日新聞デジタル』2025.01.09. 05:00. <https://digital.asahi.com/articles/DA3S16122244.html>
- ・「SNS 投稿管理、米欧に溝 マスク氏「反検閲」にメタ追随」『日本経済新聞』2025.01.10. 6:24.  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGN099PR0Z00C25A1000000/>
- ・「Meta が独立機関によるファクトチェックを終了した結果、Google 検索で Facebook ・ Instagram ・ Threads のアカウント削除方法の検索が急増」『GIGAZINE』2025.01.10. 10:42.  
<https://gigazine.net/news/20250110-google-searches-delete-facebook-instagram-meta-ends-fact-check/>
- ・古田大輔「SNS はフェイクとヘイトの巣になるか Meta の方針転換と X が示すファクトチェックとコンテンツコンテンツ規制の未来」『日本ファクトチェックセンター』2025.01.12.  
<https://www.factcheckcenter.jp/explainer/others/meta-future-of-factcheck-and-content-moderation/>
- ・(社説)「メタ真偽検証廃止表明 偽情報抑制に逆行する」『琉球新報』2025年01月14日 04:00  
<https://ryukyushimpo.jp/editorial/entry-3856502.html>

### 3. お知らせ (講座や集会のお知らせは、終了したのも記録のために掲載しています)

#### ○図書館総合展 2022 ポスターセッション「図書館利用のプライバシー保護について学ぼう！」

図書館の自由委員会サイトでは 2021 年度出展の解説動画もあわせて視聴いただけます。

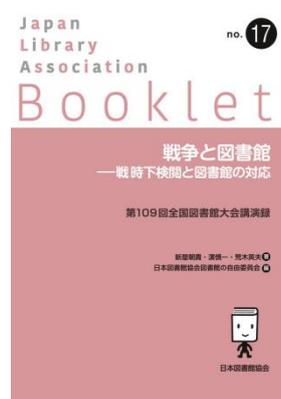
<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/952/Default.aspx>

#### ○新刊『戦争と図書館—戦時下検閲と図書館の対応 第109回全国図書館大会講演録』(JLA Booklet no.17)

新屋朝貴, 濱慎一, 荒木英夫著 日本図書館協会図書館の自由委員会編 日本図書館協会 2024年9月刊

A5サイズ 63p 1000円(税別) ISBN978-4-8204-2403-1

<https://www.jla.or.jp/publications//tabid/87/pdid/p11-0000000670/Default.aspx>



2022年2月に始まった「ロシア・ウクライナ戦争」では、図書館の閉鎖、特定の書籍を撤去する取り組みなどが行われていると報じられています。日本においても、太平洋戦争で多くの図書館が被災し、蔵書の焼失、散逸などの被害に見舞われました。一方で、戦時下の統制において図書館が「思想善導」の機関としての役割を果たしたことも忘れてはなりません。

本書は、第109回全国図書館大会分科会「戦争と図書館」の講演録です。太平洋戦争中の思想統制、図書館への弾圧、図書館人の抵抗などをテーマとする3つの講演を収録しています。2024年は「図書館の自由に関する宣言」採択70周年、資料提供の自由を使命とする図書館のあり方を考えるとき、ぜひ手にしたい一冊です。

#### もくじ

講演 旧大橋図書館から引き継がれた発禁本 新屋朝貴／講演 戦時下における県中央図書館と地方中央図書館—旧上伊那図書館の資料から 濱 慎一／講演 戦時下の図書館での思想統制—検閲の事例と「図書館の自由」への道～ 荒木英夫

○『戦争と図書館—戦時下検閲と図書館の対応 第109回全国図書館大会講演録』お詫びと訂正  
(2024.09.10.)

『戦争と図書館—戦時下検閲と図書館の対応 第109回全国図書館大会講演録』(JLA Booklet no.17, 2024年9月発行)に下記の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

ページ・行	誤	正
p.12 下から5行目	竹内善作の抵抗という点では、このような文章も残っています。	竹内善作の抵抗という点では、 <u>坪谷善四郎</u> による次のような文章も残っています。
p.13 上スライド見出し 同上 本文4行目	竹内善作の抵抗 竹内善作「播粉木の重箱掃除」	坪谷善四郎の抵抗 坪谷水哉(善四郎)「播粉木の重箱掃除」
p.20 注1)	竹内善作「播粉木の重箱掃除」	坪谷水哉(善四郎)「播粉木の重箱掃除」

[https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/出版委員会/202409/お詫びと訂正\(『戦争と図書館』\).pdf](https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/出版委員会/202409/お詫びと訂正(『戦争と図書館』).pdf)

○図書館の自由展示パネル「なんでも読める 自由に読める!？」—2023年10月改訂—利用案内

図書館の自由委員会では、「図書館の自由」にかかわるさまざまな資料をわかりやすく提示する展示パネル「なんでも読める 自由に読める!？」を作成しています。2013年10月に、新型コロナパンデミックと図書館の自由、2019年策定「デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン」についてなど最近の課題を追加し、全15枚に改訂しました。

無料で貸出していますのでどうぞご利用ください。会場での配布用に、展示資料目録と解説のついたり一フレッットの原稿もご用意しています。

使用料は無料ですが、片道の送料をご負担ください。170サイズ1個口で、送料は地域・宅配会社によって3,000円から4,000円程度となります。

詳細 URL : <https://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/686/Default.aspx>

- ◆パネルの概要 B2横(51×72cm)15枚 アルミフレーム入り
- ◆展示パネル解説リーフレット(A3両面印刷二つ折り)があります。
- ◆問合・申込先日本図書館協会図書館の自由委員会事務局(本誌奥付に記載)

○『図書館の自由』125号(2024年11月)を発行

『JLAメールマガジン』1028号 2024.11.27 発信 より転載

日本図書館協会図書館の自由委員会は、ニューズレター『図書館の自由』125号(2024年11月)を発行し、委員会サイトに掲載した。 <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/638/Default.aspx>

主な内容は以下のとおり。

- ・全国図書館大会長崎大会へのお誘い
  - ・著作権侵害を理由とする利用制限についての基本的な考え方
  - ・図書館の自由・表現の自由をめぐる記事紹介  
米国の検閲/禁書への取り組み 図書館へのサイバー攻撃、停電によるサービスの停止
  - ・新聞・雑誌記事スクラップ
  - ・おしらせ 図書館総合展2024「図書館の自由に関する宣言採択70周年記念ポスター」ほか
- なお、本誌はダウンロードして図書館等で印刷して提供できます。メールでの無料配信を希望する方は、本誌電子版の案内よりお申込みください。

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/679/Default.aspx>

○日本図書館協会図書館の自由委員会編『「図書館の自由に関する宣言 1979年改訂」解説』第3版 日本図書館協会 2022年5月刊 A5 230p 1500円(税別) ISBN978-4-8204-2202-0  
<http://www.jla.or.jp/publications/tabid/87/pdId/p11-0000000590/Default.aspx>

18年ぶりの大幅改訂、図書館の自由を豊富な資料で補強!

2004年の第2版から18年、この間、図書館をめぐるあらゆる状況が変化してきました。本書はその変化を踏まえて、図書館運営の根本原則と言える「図書館の自由に関する宣言 1979年改訂」を詳細に解説しています。あわせて、日本図書館協会の声明や見解、34点に及ぶ関連法規の抄録、諸外国の基準も豊富に収録しました。図書館の自由にかかわる問題が起きたときに、本書が冷静に判断する一助となるでしょう。



**【主な内容】**

図書館の自由に関する宣言 1979年改訂 (本文)

1. 宣言の採択・改訂とその後の展開

宣言の採択／図書館の自由の展開／自由委員会の成立と宣言改訂／宣言改訂以降の図書館の自由をめぐる問題 ほか

2. 宣言の解説

国民に対する約束／図書館員の職業倫理／知る自由と図書館の自由／知る自由と情報公開／あらゆる資料要求にこたえる／提供の自由とその制限／図書館が知りうる事実とプライバシー保護ガイドライン／図書館と検閲／国民の支持と協力 ほか

3. 資料編

- 〈日本図書館協会の基準・見解〉 図書館員の倫理綱領／差別的表現と批判された蔵書の提供について／デジタルネットワーク環境における図書館利用のプライバシー保護ガイドライン ほか
- 〈法令関連条文〉 情報公開法／公文書管理法／障害者差別解消法／刑法／特定秘密保護法／少年法／マイナンバー法 ほか
- 〈諸外国の基準〉 世界人権宣言／児童の権利に関する条約／ユネスコ公共図書館宣言／IFLA インターネット宣言 ほか

○『「図書館の自由に関する宣言 1979年改訂」解説』第3版 正誤表 (2022年10月12日更新)  
<https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/出版委員会/List%20of%20errata-Intellectual%20Freedom%203rd%20ed.202210.pdf>

ページ・行	誤	正
p20 6行目	進展とともに頻出し	進展とともに頻出し
p36 17行目	提供制限をしながら	資料提供をしながら
p187 3行目	1948年6月18日	1939年6月19日

○『『図書館年鑑』にみる「図書館の自由に関する宣言」2004年から2017年のあゆみ』(品切) 日本図書館協会図書館の自由委員会編 2019.10 ¥3,000+税 ISBN978-4-8204-1908-2

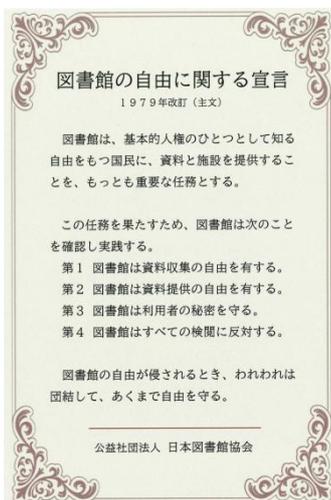
○『図書館の自由に関する宣言 1979年改訂のころ:塩見昇講演会記録集』 塩見昇著 日本図書館協会図書館の自由委員会編 (JLA Booklet No.3) 日本図書館協会 2018.10 ISBN978-4-8204-1810-8 ¥1,000+税

○塩見昇著『図書館の自由委員会の成立と「図書館の自由に関する宣言」改訂』 日本図書館協会 2017.12 ISBN978-4-8204-1712-5 ¥2,200+税

○『図書館の自由を求めて：「図書館の自由に関する宣言」採択50周年記念座談会と60周年記念講演会の記録』日本図書館協会 2016.4 ISBN978-4-8204-1602-9 ¥1,200+税

○『図書館の自由に関する全国公立図書館調査2011年付・図書館の自由に関する事例2005～2011年』日本図書館協会図書館の自由委員会編 日本図書館協会 2013.7 ISBN978-4-8204-1303-5 ¥2,000+税

※協会へ注文されると個人会員の方は会員割引(定価の2割引)で購入できます。



○「図書館の自由に関する宣言」はがきデザインをリニューアル!

はがき10枚セット価格:100円+送料実費

はがき5枚、宣言小冊子1冊(A7サイズ 8p 中折三つ目とじ)セット価格:100円+送料実費

代金支払方法:郵便切手、応相談

どうぞお手軽に活用ください。

<https://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/973/Default.aspx#pcard>

○図書館の自由委員会からのお知らせは、協会Xからも提供しています。  
([https://x.com/JLA\\_information](https://x.com/JLA_information))

日本図書館協会/JLA @JLA\_information

#自由委員会をつけていますのでこちらもご活用ください。

○『図書館の自由』ニューズレター 電子版配信案内

電子版(無料)配信希望者は、受信を希望するメールアドレスから、電子メールにてご連絡ください。

宛先:nljiyu@jla☆yahoo.co.jp(送信時に☆を@に半角)に変えてください)

件名:「新規配信希望」としてください。

本文:個人の場合は「氏名・所属等(任意)」を、団体の場合は「団体名・担当係(者)名」をご記入ください。

※受信希望アドレスから送信できない場合は、本文中に受信希望アドレスをご記入ください。

※2営業日以内に受領のご連絡をします。返信のない場合はお手数ですが再度ご一報ください。

※読み上げソフト利用の都合などでword形式をご希望の方はお知らせください。

なお、本誌はダウンロードして図書館等で印刷して提供できます。

---

## 図書館の自由第126号 (2025年2月)

編集・発行:公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会 不定期刊

<http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/182/default.aspx>

問合・連絡先:公益社団法人日本図書館協会図書館の自由委員会事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

電話 (03) 3523-0814

Email nljiyu@jla☆yahoo.co.jp(送信時に☆を@に半角)に変えてください)

これまでの目次 <http://www.jla.or.jp/committees/jiyu/tabid/638/default.aspx>

電子版購読費:無料

---